

監督研究 伊藤大輔

数年来企画をすすめてきた「監督研究 伊藤大輔」を、ここに開催いたします。

映画に親しまれた方々なら御承知のとおり、伊藤監督(1898~)は日本映画の指導的作家としてサイレント期から今日まで、わが国映画の歴史に大きな足跡を残されております。今回の特集は、同監督の現存する作品の中から主要作を選び、そのすぐれた業績と作風・技法をあらためて回顧し研究しようとするもので、いまは失われてしまった「忠次旅日記・3部作」をはじめとする数々の名作無声映画を欠くうらみはありますが、最善の努力を注いだ番組と自負いたす次第であります。

またとない機会かと思われまますので、ひろく映画愛好者、研究家各位の御鑑賞をおすすめいたします。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館 毎日午後3時・6時15分開映。

先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。(開館は12時30分)

一般200円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製 作 会 社	製作年	出 演 者
5月6日(金)	御誂治郎吉格子(無声・69分)	日 活	1931	大河内伝次郎、伏見直江、伏見信子、高勢実乗
9日(月)	お六揃(79分)	第 一 映 画	1935	月田一郎、歌川絹代、山田五十鈴、中野英治
10日(火)	四十八人目の同志(87分)	"	1936	坂東好太郎、山田五十鈴、松本泰輔
11日(水)	鞍馬天狗(106分)	大 映	1942	嵐寛寿郎、琴糸路、原健作、上山草人
12日(木)	二刀流開眼(90分)	"	1943	片岡千恵蔵、市川春代、相馬千恵子、月形竜之介
13日(金)	決闘般若坂(75分)	"	"	片岡千恵蔵、市川春代、月形竜之介、相馬千恵子
16日(月)	素浪人罷通る(81分)	"	1947	阪東妻三郎、喜多川千鶴、片山明彦、守田勘弥
17日(火)	王 将(93分)	"	1948	阪東妻三郎、水戸光子、三條美紀、滝沢修
18日(水)	われ幻の魚を見たり(106分)	"	1950	大河内伝次郎、小夜福子、片山明彦、東山千栄子
19日(木)	おぼろ駕籠(95分)	松 竹	1951	阪東妻三郎、月形竜之介、田中絹代、山田五十鈴
20日(金)	大江戸五人男(131分)	"	"	阪東妻三郎、山田五十鈴、高峰三枝子、市川右太衛門
23日(月)	治郎吉格子(99分)	"	1952	長谷川一夫、高峰三枝子、岸恵子、進藤英太郎
★ 5月24日から6月6日まで「現代ブルガリア映画の展望」				
6月7日(火)	獅子の座(118分)	大 映	1953	長谷川一夫、岸恵子、堀雄二、田中絹代
8日(水)	番町血屋敷・お菊と播磨(93分)	"	1954	長谷川一夫、津島恵子、田崎潤、村田知英子
9日(木)	春琴物語(110分)	"	"	京マチ子、花柳喜章、杉村春子、船越英二
10日(金)	明治一代女(107分)	新 東 宝	1955	木暮実千代、北上弥太郎、田崎潤、杉村春子
13日(月)	下郎の首(96分)	"	"	田崎潤、嵯峨三智子、高田稔、片山明彦
14日(火)	王将一代(118分)	"	"	辰巳柳太郎、木暮実千代、田中絹代、島田正吾
15日(水)	元禄美少年記(107分)	松 竹	"	中村賀津雄、淡路恵子、雪代敬子、片山明彦
16日(木)	いとはん物語(83分)	大 映	1957	京マチ子、鶴田浩二、矢島ひろ子、小野道子
17日(金)	弁天小僧(85分)	"	1958	市川雷蔵、勝新太郎、青山京子、島田竜三
20日(月)	反逆児(110分)	東 映	1961	中村錦之助、東千代介、月形竜之介、杉村春子
21日(火)	源氏九郎胤爽記・秘剣揚羽の蝶(109分)	"	1962	中村錦之助、大川恵子、長谷川裕見子、丹波哲郎
22日(水)	王 将(92分)	"	"	三国連太郎、淡島千景、三田佳子、村田英雄
23日(木)	この首一万石(93分)	"	1963	大川橋蔵、江利チエミ、大坂志郎、堺駿二
24日(金)	徳川家康(142分)	"	1965	中村錦之助、有馬稲子、北大路欣也、田村高広
27日(月)	幕 末(120分)	中村プロ・東宝	1970	中村錦之助、三船敏郎、小林桂樹、仲代達矢

土曜特集：各国特選

* 毎日ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映(毎回ヒル・ヨル全館入替制)、入場法は平日と同じ。

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
5月7日ヒル	アメリカの影	米・1960	ジョン・カサヴェテス	レリア・ゴールドニ、ヒュー・ハード
ヨル	旅 愁	"・1951	ウィリアム・ディターレ	ジョゼフ・コットン、ジョーン・フォンテーン
14日ヒル	白き処女地	仏・1934	ジュリアン・デュヴィヴィエ	マドレーヌ・ルノー、ジャン・ギャバン
ヨル	美しき青春	"・1937	J・ブノア・レヴィ	マドレーヌ・ルノー、ジャン・ルイ・パロー
21日ヒル	私は好奇心の強い女(イェロー版)	米・1967	ヴィルゴット・シェーマン	レナ・ニーマン、ボルエ・アールステッド
ヨル	愛のレッスン	"・1954	イングマル・ベルイマン	エヴァ・ダールベック、グンナール・ビヨルンストランド
28日ヒル	煎 章	日・1954	渋谷 実	小沢栄、佐田啓二、香川京子、千田是也
ヨル	夜の鼓	"・1958	今 井 正	三国連太郎、有馬稲子、森雅之、日高澄子
6月4日ヒル	彼女と彼	"・1963	羽 仁 進	左幸子、岡田英次、山下菊二、五十嵐まり子
ヨル	野菊の如き君なりき	"・1955	木 下 恵 介	田中晋二、有田紀子、笠智衆、杉村春子
11日ヒル	恐怖の砂	英・1958	J・リー・トンブスン	ジョン・ミルズ、シルヴィア・シムス
ヨル	私に殺された男	"・1958	アンソニー・アスキス	ポール・マッシー、リリアン・ギッシュ
18日ヒル	スエーデンの城	仏・1964	ロジェ・ヴァディム	モニカ・ヴィッティ、ジャン・クロード・ブリアリ
ヨル	いとこ同志	"・1959	クロード・シャブロール	ジェラルド・ブラン、ジャン・クロード・ブリアリ
25日ヒル	{ 人形殺人事件	英・1957	モンゴメリー・タリー	ロナルド・アダム
ヨル	{ 魔の二重犯罪	"・"	"	ラッセル・ナピヤー
	慕 情	米・1955	ヘンリー・キング	ウィリアム・ホールデン、ジュニファー・ジョーンズ

東京国立近代美術館 フィルムセンター 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 ☎ 561-0823

* 竹橋本館 1977年6月5日まで「浜田庄司展」

現代ブルガリア映画の展望

当フィルムセンターでは、さる昭和49年3月に「現代ブルガリア映画の展望」を開催して、近年世界的に注目を浴びている新興映画国ブルガリアの代表的秀作を紹介上映いたしおおかたの御好評をいただきました。その後見逃した方々より再上映の希望も多く、今回ブルガリア大使館の御協力を得て新しい劇映画、記録映画、アニメーション映画を番組面に追加し、ここに再度開催する運びとなった次第であります。

ひろく映画研究者・愛好者の各位におかれては、この機会を御利用されることをおすすめいたします。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館 毎日午後3時・6時15分開映。先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。(開館は12時30分)

上映作品は英語字幕付き、日本語字幕はありません。

一般200円・学生140円・小人100円

期 日	開 映 時 間	題 名	製作年	監 督
5月24日(火)	午後3時	ひなぎく(アニメ・6分)	1965	トドル・ディノフ
		小さな島で(劇・95分)	1958	ランゲル・ヴァルチャノフ
24日(火)	午後6時15分	相続人(アニメ・10分)	1970	イワン・ヴァッセリノフ
		桃泥棒(劇・80分)	1964	ヴーロ・ラデフ
25日(水)	午後3時	間抜けな三人(アニメ・10人)	1972	ドンヨ・ドネフ
		一番長い夜(劇・94分)	1967	ヴーロ・ラデフ
25日(水)	午後6時15分	ジュラシー(アニメ・10分)	1963	トドル・ディノフ
		かしこい村(アニメ・10分)	1972	ドンヨ・ドネフ
		鳥と猟犬(劇・77分)	1969	ゲオルギ・ストヤノフ
26日(木)	午後3時	リング(アニメ・5分)	1964	トドル・ディノフ、ストヤン・ドコフ
		あなぼこ(アニメ・5分)	1967	ゼンカ・ドイチュエヴァ
		聖像壁(劇・93分)	1969	フリスト・フリストフ
26日(木)	午後6時15分	マツの枝の話(アニメ・10分)	1960	トドル・ディノフ
		愛情(劇・90分)	1972	リュドミル・スタイコフ
27日(金)	午後3時	陽気な仲間(アニメ・10分)	1969	ベンチヨ・ボグダノフ
		毛のないヤマアラシ(劇・80分)	1971	ディミテル・ペトロフ
27日(金)	午後6時15分	水族館(アニメ・10分)	1973	ゼンカ・ドイチュエヴァ
		三馬鹿狩人(アニメ・7分)	1973	ドンヨ・ドネフ
		仕事のない男たち(劇・70分)	1973	イワン・テルジェフ
30日(月)	午後3時と 6時15分	ボント近郊の古代の町(記録・24分)		
		私が知っている一番親切な男(劇・99分)	1973	リュボミル・シャルランジェフ
31日(火)	午後3時と 6時15分	はなやかな市場(記録・18分)		
		予審判事と森(劇・102分)	1976	ヴァシル・キラノフ
6月1日(水)	午後3時と 6時15分	アレキサンドル・ネフスキー寺院(記録・16分)		
		ストイカ母さん(記録・20分)		
		不意の試験(劇・71分)	1973	イヴァンカ・グルブチュエヴァ
2日(木)	午後3時と 6時15分	クケルの祭(記録・18分)		
		一つ目の巨人(劇・96分)	1977	フリスト・フリストフ
3日(金)	午後3時と 6時15分	——新作アニメーション映画特集——		
		ホロスコープ(21分)	1974	ゼンカ・ドイチュエヴァ
		カーボン紙の海賊(10分)	1974	ラドカ・ブチヴァロヴァ
		音楽の木(8分)	1975	ドンヨ・ドネフ
		音楽即興者(10分)	1975	プロイコ・プロイコフ
		モデル(6分)	1976	
		傷ついた小犬(9分)	1976	
		地球(9分)	1975	ラドカ・ブチヴァロヴァ
		ブルガリアのリズム(21分)	1976	
		柱(7分)	1976	
		コミッション(9分)	1976	

土曜特集：日本映画特選

* 毎日ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映(毎回ヒル・ヨル全館入替制)、入場方法・入館料は平日と同じ

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
5月28日ヒル	勲章	1954	渋谷実	小沢栄、佐田啓二、香川京子、千田是也
ヨル	夜の鼓	1958	今井正	三国連太郎、有馬稲子、森雅之、日高澄子
6月4日ヒル	彼女と彼	1963	羽仁進	左幸子、岡田英次、山下菊二、五十嵐まり子
ヨル	野菊の如き君なりき	1955	木下恵介	田中晋二、有田紀子、笠智衆、杉村春子

東京国立近代美術館 **フィルムセンター** 中央区京橋3-11 地下鉄・京橋、宝町下車 ☎ 561-0823

* 竹橋本館 1977年6月5日まで「浜田庄司展」

恐怖と幻想の映画特集

多岐多彩な映画ジャンルの中で、ひときわ特異な分野を占めてきた恐怖と幻想の映画にスポットをあて、内外の代表的作品を集めて、ここに特集を開催することとなりました。

構成した作品群は、それぞれに国民性がうかがえる映画史上の秀作・話題作で、これらを通じて恐怖と幻想の映画世界が発散する映像表現の魅力を探究していただきたいと存じます。ひろく映画愛好者・研究者各位の御鑑賞をおすすめいたします。

日曜・祝日は休館 毎日午後3時・6時15分開映。★7月23日上映の「怪談」は1時・5時開映 *先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。(開館は12時30分) 一般200円・学生・140円・小人100円

期 日	題 名	製作会社	製作年	監 督	出 演 者
6月29日(木)	吸血鬼ドラキュラ(82分)	イギリス	1958	テレンス・フィッシャー	クリストファー・リー、ピーター・カッシング、キャロル・マーシュ
30日(木)	{カリガリ博士(無声・58分) アッシャー家の末裔(無声・69分)	ドイツ フランス	1919 1928	ロベルト・ヴィーネ ジャン・エプスタン	ヴェルナー・クラウス、コンラート・ファイト、リル・ダゴファー ジャン・ドビュクール、マルグリート・ガンス、シャルル・ラミー
7月1日(金)	両月物語(97分)	大映	1953	溝口健二	京マチ子、森雅之、田中絹代、小沢栄太郎、水戸光子
4日(月)	顔のない眼(91分)	フランス	1960	ジュール・フランジュ	ビエール・ブラッスール、エディット・スコブ、アリダ・ヴァーリ
5日(火)	姦婦の生き埋葬(81分)	アメリカ	1962	ロジャー・コーマン	レイ・ミランド、ヘイズル・コート
6日(水)	地獄(100分)	新東宝	1960	中川信夫	天知茂、沼田曜一、三ツ矢歌子、嵐寛寿郎
7日(木)	狂へる悪魔(無声・72分)	アメリカ	1920	ジョン・S・ロバートソン	ジョン・バリモア、マーサ・マンズフィールド、ニタ・ナルディ
8日(金)	フランケンシュタインの逆襲(83分)	イギリス	1957	テレンス・フィッシャー	クリストファー・リー、ピーター・カッシング、ヘイズル・コート
11日(月)	牡丹燈籠(TV映画・100分)	歌舞伎座	1970	中川信夫	田村亮、金井由美、戸浦六宏、名古屋章、阿部寿美子
12日(火)	忍者と悪女(86分)	アメリカ	1963	ロジャー・コーマン	ボリス・カーロフ、ピーター・ローレ、ヴィンセント・ブライス
13日(水)	{ヴァルドマル氏の病症(35分) 吸血鬼(60分)	アメリカ ドイツ	1962 1931	ロジャー・コーマン カール・ドレイヤー	ヴィンセント・ブライス、ベジル・ラスボーン、デブラ・バジェット ジュリアン・ウエスト、シビル・シュミッツ、モーリス・シュルツ
14日(木)	オペラの怪人(無声・80分)	アメリカ	1925	ルバート・ジュリアン	ロン・チャニー、メアリ・フィルピン、ノーマン・ケリー
15日(金)	東海道四谷怪談(77分)	新東宝	1959	中川信夫	天知茂、若杉嘉津子、江見俊太郎、池内淳子
18日(月)	時代を通じての妖術(無声・110分)	スウェーデン	1921	ベンジャミン・クリステンセン	中世から近代に至る、悪魔と魔女についてのセミ・ドキュメンタリー
19日(火)	巨人ゴーレム(72分)	チェコ	1936	ジュリアン・デュヴィヴィエ	アリ・ボール、ロジェ・カール、ジャンニ・オルト、シャルル・ドラ
20日(水)	吸血鬼ノスフェラトゥ(無声・73分)	ドイツ	1922	F・W・ムッナウ	マックス・シュレック、グスタフ・フォン・ワンゲンハイム、グレッタ・シュレーデル
21日(木)	尼僧ヨアンナ(109分)	ポーランド	1960	イエジー・カワレロヴィッチ	ルチーナ・ウイニツカ、ミエチスワフ・ウォイト
22日(金)	怪談かさねが淵(66分)	新東宝	1957	中川信夫	若杉嘉津子、和田孝、北沢典子、丹波哲郎
23日(土)	★怪談(183分)	にんじんらぶ=東宝	1964	小林正樹	三国連太郎、岸恵子、新珠三千代、仲代達矢、中村賀津雄

長篇ドキュメンタリー映画10選

世界のドキュメンタリー映画史上に特筆される長篇作品の中から、それぞれに趣きの異なった名作を10本選んでみました。ドキュメンタリー映画の父と仰がれるフラハティをはじめ、これに続く世界の代表作家たちが伝える驚異と感動のカメラ・アイは、まさにドキュメンタリー映画の醍醐味を満喫するに充分かと存じます。

期 日	題 名	製作会社	製作年	監 督	内 容
7月25日(月)	カラコルム(78分)	日映新社	1956	林田重男・中村誠二	カラコルム・ヒンズークシ学術探検隊による秘境の記録。
26日(火)	空と泥(82分)	フランス	1961	ビエール・ドミニク・ゲッソー	初のニューギニア横断旅行に成功したフランス探検隊の記録。
27日(水)	民族の祭典・オリンピア第1部(85分)	ドイツ	1938	レニ・リーフェンシュタール	1936年ベルリン・オリンピック陸上競技の記録。
28日(木)	秘境ヒマラヤ(77分)	読売映画	1960	大森 栄、中村 正	西北ネパール学術探検隊による秘境ヒマラヤの驚異的記録。
29日(金)	極北の怪異(無声・69分)	アメリカ	1922	ロバート・フラハティ	ドキュメンタリー映画の父フラハティがエスキモーの生活を描いた映画史上の名作。
8月1日(月)	クワヘリ(80分)	アメリカ	1963	ミキ・カーター	アフリカ大地に現存する原始的医術の実態と小人族ピグミーの生態を描く。
2日(火)	黄色い大地(97分)	イタリア	1958	カルロ・リッツァーニ	今次大戦後の新生中国の風土・風俗を外国人の眼からとらえた記録。
3日(水)	ザンバ(無声・75分)	アメリカ	1928	M&O・ジョンソン	アフリカの秘境に行く世界的探検家ジョンソン夫妻の輝けるドキュメント。
4日(木)	海底探検世界一周(92分)	フランス	1959	B・ゴルスキー、P・バスキエ	ヨットを繰り、七つの海の海底を探りながら世界一周した青年たちの記録。
5日(金)	世界残酷物語(103分)	イタリア	1961	グアルティエロ・ヤコベッティ	人間の残酷さをユーモラスに、また非情にカメラであばいて記録映画に新分野を拓いた作品。

土曜特集

*ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映(毎回ヒル・ヨル全館入替制)、入場方法・入館料は平日と同じ、★7月30日上映の「白痴」は1時・5時開映

期 日	題 名	製作会社	製作年	監 督	出 演 者
7月2日 ヒル	アルファヴィル(93分)	フランス	1965	ジャン＝リュック・ゴダール	エディ・コンスタンティーヌ、アンナ・カリーナ、エイキム・タミロフ
ヨル	笛吹川(117分)	松竹	1960	木下 恵 介	高峰秀子、田村高広、岩下志麻、市川染五郎
9日 ヒル ヨル	巴里祭(88分)	フランス	1932	ルネ・クレール	ジョルジュ・リゴー、アナベラ、ポーラ・イルリ
16日 ヒル ヨル	羅生門(88分)	大映	1950	黒 沢 明	三船敏郎、京マチ子、森雅之、志村喬
30日 ヒル ヨル	★白痴(165分)	松竹	1951	黒 沢 明	原節子、森雅之、三船敏郎、久我美子
8月6日 ヒル	原爆の子(98分)	近代映協	1952	新 藤 兼 明	乙羽信子、宇野重吉
ヨル	きけわだつみの声(108分)	東映	1950	関 川 秀 雄	伊豆肇、沼田曜一、原保美、河野秋武

映画に見る昭和十年代

映画は社会情勢の移り変りに即応して、最も敏感にその時代時代の息吹を伝える媒体としての機能を有しているといつてよいでしょう。たとえ、それが創作された劇映画であったとしても、映画作家は、そしてカメラは、製作された時点における時代の感覚なり、世相なり、時の流れというものを映像の中にとらえ、記録しているのです。このたびの特集「映画に見る昭和十年代」は、数年前に当センターで開催した特集「占領下の日本映画」と表裏一体の相関性を持つ企画であり、日中戦争から

太平洋戦争に突入していった昭和十年代の日本の歴史的流れを、当時製作された劇映画とニュース映画との併映を図ることによってそれを俯瞰しようとするものであります。映画研究者・愛好家各位はもとより、ひろく各分野の研究に携わる方々にとられても容易に得難い機会かと存じますので、御利用・御鑑賞をおすすめする次第です。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館、開映は午後3時・6時15分の2回（先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。開館は12時30分）
一般200円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製 作 会 社	監 督	出 演 者
9月14日(木)	乙女ごころ三人姉妹 (75分)	昭和10年・P C L	成 瀬 巳喜男	細川ちか子、堤真佐子、桜園竜子、林千歳
16日(金)	東京の宿 (78分)	" " 松 竹	小 津 安二郎	坂本武、岡田嘉子、実貫小僧、飯田蝶子
19日(月)	人生のお荷物 (65分)	" " "	五 所 平之助	斎藤達雄、吉川満子、田中絹代、佐分利信
20日(火)	有りがたうさん (75分)	昭和11年・ "	清 水 宏	上原謙、桑野通子、築地まゆみ、河村黎吉
21日(水)	浪華悲歌 (71分)	" " 第一映画	溝 口 健二	山田五十鈴、志賀廻家弁慶、梅村容子、原健作
22日(木)	兄いもうと (60分)	" " P C L	木 村 莊十二	竹久千恵子、丸山定夫、小杉義男、英百合子
26日(月)	彦六大いに笑ふ (71分)	" " 東 宝	" "	徳川夢声、丸山定夫、堤真佐子、英百合子
27日(火)	淑女は何を忘れたか (70分)	昭和12年・松 竹	小 津 安二郎	桑野通子、佐野周二、斎藤達雄、栗島すみ子
28日(水)	婚約三羽鳥 (65分)	" " "	島 津 保次郎	上原謙、佐分利信、佐野周二、高峰三枝子
29日(木)	北支の空を衝く (65分)	" " PCL=東宝	渡 辺 邦 男	岡譲二、大川平八郎、堤真佐子、英百合子
30日(金)	進軍の歌 (53分)	" " 松 竹	佐々木 康	佐分利信、川崎弘子、桑野通子、水戸光子
10月1日(土)	——臨時休館——			
3日(月)	若い人 (81分)	" " 東京発声	豊 田 四 郎	大日方伝、市川春代、英百合子、夏川静江
4日(火)	新しき土 (113分)	" " JO=東和商事	A・ファンク、伊丹 万作	早川雪洲、小杉勇、原節子、市川春代
5日(水)	五人の斥候兵 (73分)	昭和13年・日 活	田 坂 具 隆	小杉勇、見明凡太郎、伊沢一郎、井染四郎
6日(木)	東洋平和の道 (101分)	" " 東和商事	鈴木 重吉・張 迷生	白光、仲秋芳、李明、徐聡、李飛宇
7日(金)	母と子 (87分)	" " 松 竹	渋谷 実	田中絹代、吉川満子、佐分利信、河村黎吉
11日(火)	綴方教室 (85分)	" " 東 宝	山 本 嘉次郎	高峰秀子、徳川夢声、清川虹子、赤木蘭子
12日(水)	鶯 (72分)	" " 東京発声	豊 田 四 郎	霧立のぼる、清川虹子、堤真佐子、北沢彪
13日(木)	南風 (72分)	昭和14年・松 竹	渋谷 実	田中絹代、徳大寺伸、佐分利信、水戸光子
14日(金)	爆音	" " 日 活	田 坂 具 隆	小杉勇、片山明彦、轟夕起子、花柳小菊
17日(月)	はたらく一家 (65分)	" " 東 宝	成 瀬 巳喜男	徳川夢声、大日方伝、本間教子、伊東薫
18日(火)	上海陸戦隊 (93分)	" " "	熊 谷 久 虎	大日方伝、原節子、清川虹子、北沢彪
19日(水)	五人の兄妹 (93分)	" " 松 竹	吉 村 公三郎	藤野秀夫、葛城文子、笠智衆、日守新一
20日(木)	土と兵隊 (155分)	" " 日 活	田 坂 具 隆	小杉勇、井染四郎、山本礼三郎、見明凡太郎
21日(金)	白蘭の歌 (100分)	" " 東 宝	渡 辺 邦 男	長谷川一夫、李香蘭、霧立のぼる、山根寿子
	*10月26日~11月7日	日本映画技術の発展——戦後30年——		
	*11月9日~11月22日	カナダ映画の史的展望		
11月24日(木)	沃土万里 (87分)	昭和15年・日 活	倉 田 文 人	江川宇礼雄、出雲竜子、風見章子、星ひかる
25日(金)	暁に祈る (105分)	" " 松 竹	佐々木 康	田中絹代、徳大寺伸、佐分利信、伊藤久男
28日(月)	支那の夜 (127分)	" " 東 宝	伏 水 修	長谷川一夫、李香蘭、藤原鶏太、服部富子
29日(火)	燃ゆる大空 (137分)	" " "	阿 部 豊	大日方伝、月田一郎、長谷川一夫、灰田勝彦
30日(水)	西住戦車長伝 (123分)	" " 松 竹	吉 村 公三郎	上原謙、佐分利信、桑野通子、坂本武
12月1日(木)	熱砂の誓ひ (120分)	" " 東 宝	渡 辺 邦 男	長谷川一夫、李香蘭、江川宇礼雄、丸山定夫
2日(金)	馬 (127分)	昭和16年・東 宝	山 本 嘉次郎	高峰秀子、藤原鶏太、竹久千恵子、沢村貞子
5日(月)	女の宿 (85分)	" " 松 竹	犬 塚 稔	高田浩吉、木暮実千代、坪内美子、日守新一
6日(火)	指導物語 (107分)	" " 東 宝	熊 谷 久 虎	原節子、丸山定夫、若原春江、三谷幸子
7日(水)	桜の園 (85分)	" " 松 竹	渋谷 実	高峰三枝子、上原謙、水戸光子、笠智衆
8日(木)	わが愛の記 (98分)	" " 東京発声	豊 田 四 郎	遠藤慎吾、山岸美代子、杉村春子、矢口陽子
9日(金)	——臨時休館——			
10日(土)	母の地図 (101分)	昭和17年・東 宝	島 津 保次郎	杉村春子、三津田健、大日方伝、原節子
12日(月)	愛国の花 (95分)	" " 松 竹	佐々木 啓 祐	木暮実千代、佐野周二、若水絹子、坂本武
13日(火)	将軍と参謀と兵	" " 日 活	田 口 哲	阪東妻三郎、林寛、押本映治、北竜二
14日(水)	ハワイ・マレー沖海戦 (118分)	" " 東 宝	山 本 嘉次郎	大河内伝次郎、原節子、伊東薫、英百合子
15日(木)	海の母 (109分)	" " 日 活	伊賀山 正 徳	杉村春子、片山明彦、星野ひかる、見明凡太郎
16日(金)	我が家の風 (84分)	昭和18年・大 映	田 中 重 雄	宇佐美淳、月丘夢路、中田弘二、小柴幹治
17日(土)	花咲く港 (81分)	" " 松 竹	木 下 恵 介	上原謙、小沢栄太郎、水戸光子、笠智衆
19日(月)	決戦の大空へ (89分)	" " 東 宝	渡 辺 邦 男	高田稔、原節子、英百合子、進藤英太郎
20日(火)	愛機南へ飛ぶ (111分)	" " 松 竹	佐々木 康	佐分利信、信千代、原保美、小杉勇、風見章子
21日(水)	海軍 (86分)	" " "	田 坂 具 隆	山内明、小杉勇、滝花久子、風見章子、水戸光子
22日(木)	モンペさん (80分)	昭和19年・大 映	田 中 重 雄	月丘夢路、宇佐美淳、真山くみ子、沢村貞子
23日(金)	一番美しく (83分)	" " 東 宝	黒 沢 明	矢口陽子、江たか子、志村喬、清川莊司
26日(月)	日常の戦ひ (71分)	" " "	島 津 保次郎	佐分利信、轟夕起子、藤田進、花井蘭子
27日(火)	乙女のある基地 (50分)	昭和20年・松 竹	佐々木 康	水戸光子、佐野周二、笠智衆、原保美、志村喬

*毎日各作品上映の前に、当時のニュース映画を併映いたします。

土曜特集：昭和十年代公開のフランス映画

「映画に見る昭和十年代」開催期間に合わせて、当時日本で封切された外国映画で、特に深い印象を残したフランス映画に焦点をあて、これまで

当フィルムセンターで上映の機会が少なかった作品及び再上映の希望が多かった作品から選んでみました。御鑑賞を願う次第です。

フィルムセンター

ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分の開映（毎回ヒル・ヨル全館入替制）。入場方法、入館料は平日と同じ。★は日本語字幕なし。

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
9月17日	ヒル 乙女の湖 (90分)	1934	マルク・アレグレ	ジャン・ピエール・オーモン、シモーヌ・シモン、ロジューヌ・ドレアン
	ヨル 最後の億万長者 (88分)	1934	ルネ・クレール	マクス・テアリ、ルネ・サン＝シール、マルト・メロ
24日	ヒル モンパルナスの夜	1932	ジュリアン・デュヴィヴィエ	アリ・ポール、ヴァレリ・インキジノフ、アレクサンドル・リニョー
	ヨル ミモザ館 (113分)	1934	ジャック・フェデー	フランソワーズ・ロゼー、ポール・ベルナル、リーズ・ドラマール
10月8日	ヒル 別れの曲 (86分)	1934	ケザ・フォン・ボルグヴァリ	ジャン・セルヴェ、ジャンヌ・クリスナン、リュシエンヌ・ルマルシャン
	ヨル 女だけの都 (102分)	1935	ジャック・フェデー	フランソワーズ・ロゼー、アンドレ・アレルム、ルイ・ジュールヴェ
15日	ヒル★南方飛行 (89分)	1935	ピエール・ビヨン	ピエール・リシャール＝ウィルム、シャルル・ヴァネル、ジャン・オルト
	ヨル ジュニイの家 (90分)	1936	マルセル・カルネ	フランソワーズ・ロゼー、アルベール・フレジャン、シャルル・ヴァネル
22日	ヒル 格子なき牢獄 (77分)	1938	レオニード・モギー	アニー・デュコー、ロジェ・デュシェーヌ、コリンヌ・リュシエール
	ヨル 舞踏会の手帖 (97分)	1937	ジュリアン・デュヴィヴィエ	フランソワーズ・ロゼー、マリー・ベル、ルイ・ジュールヴェ、アリ・ポール
11月26日	ヒル★背信 (94分)	1937	アンリ・ドコワン	ダニエル・ダリウ、シャルル・ヴァネル、ヴァランティーヌ・テシエ
	ヨル 禁男の家 (99分)	1936	ジャック・ドヴァル	ダニエル・ダリウ、エヴ・フランシス、ベティ・ストックフェルド
12月3日	ヒル シュヴァリエの流行児 (95分)	1936	ジュリアン・デュヴィヴィエ	モーリス・シュヴァリエ、エルヴィエ・ポペスコ、ジョゼット・デュ
	ヨル 罪と罰 (110分)	1925	ピエール・シュナール	アリ・ポール、ピエール・ブランシャール、マドレーヌ・オズレ

ソ連映画の史的展望 (1923~1946)

ソ連映画が映画の発展に果たした芸術的貢献については、世界の人が等しくこれを認めるところであります。エイゼンシュテイン、ドフキン、ドフジェンコをはじめとするソ連の映画監督群は、グリフィス以来の映画の文法を踏まえながら、それを乗り越えた新しい表現技法を創造して世界映画界に大きな衝撃と影響を与えたのです。

当フィルムセンターでは、これらソ連映画の名監督の手になる全く新しい鮮烈な

映像構成の誕生を示す無声映画期の不朽の名作をはじめ、トーキー以後第2次大戦の終結期までにおける代表的作品を一堂に集め、ここに大規模な「ソ連映画の史的展望 (1923~1946)」を開催することとなりましたが、これは当センターが多年にわたって実現化を図ってきたものであり、またソ連邦建国60周年を迎えたときにふさわしい日ソ文化交流の役割を果たすものでもあります。ひろく映画研究者・愛好者各位の御鑑賞をおすすめいたします。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館、開映は午後3時・6時15分の2回 (先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。開館は12時30分)

一般200円、学生140円、小人100円

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
1月5日(木)	魅惑の光(ソ連映画抄史)	1967	イー・パセルスキー ヴェー・カタニヤン エル・マフアチ	
		1923	イワン・ベレスチアーニ	ピョートル・エシコフスキー、ソフィア・イオゼフフィ、カドル・ベン＝セリム
6日(金)	赤い小悪魔	1924	レフ・クレシヨフ	ボルフィリ・ポドベード、ボリス・バルネット、アレクサンドラ・ホフーロワ
9日(月)	ボルシェヴィキの国における ヴェスト氏の異常な冒険	1924	S・M・エイゼンシュテイン	アレクサンドル・アントーノフ、ミハイル・ゴモロフ、イ・クリュークヴィン
		1925	ジガ・ヴェルトフ	記録映画
10日(火)	戦艦ポチョムキン	1925	S・M・エイゼンシュテイン	アレクサンドル・アントーノフ、グリゴリー・アレクサンドロフ
11日(水)	母	1926	フセヴォロド・ドフキン	ヴェラ・バラノフスカヤ、ニコライ・バターロフ、ア・チスチャコフ
12日(木)	聖ペテルブルグの最後	1927	フセヴォロド・ドフキン	ア・チスチャコフ、ヴェラ・バラノフスカヤ、イワン・チュヴェリョフ
13日(金)	十月	1928	S・M・エイゼンシュテイン	ワシリー・ニコandroフ、エヌ・ポポフ、ボリス・リワーノフ
17日(火)	アジアの嵐	1928	フセヴォロド・ドフキン	ワレリイ・インキジノフ、イ・インキジノフ、ア・チスチャコフ
18日(水)	アルセナール	1929	アレクサンドル・ドフジェンコ	セミョーン・スワシェンコ、エヌ・クチンスキー、デ・エルドマン
19日(木)	新バビロン	1929	グリゴリー・コージンツェフ レオニード・トラウベルグ	エレーナ・クジミナ、ピョートル・ソボレフスキー、デ・グートマン
20日(金)	全線	1929	S・M・エイゼンシュテイン	マルファ・ラバキナ、ワーシャ・ブゼンコフ、コースチャ・ワシーリエフ
23日(月)	帝国の破片	1929	フリードリヒ・エルムレル	フォードル・ニキーチン、リュドミラ・セミョーノワ、ワレリイ・ソロボツォフ
24日(火)	トゥルクシブ	1929	ヴィクトル・トゥーリン	記録映画
25日(水)	大地	1930	アレクサンドル・ドフジェンコ	セミョーン・スワシェンコ、ステパン・シュクラート、ユーリア・ソーンツェフ
26日(木)	狼と人間 生存の闘争	1927	A・ヴィンニツキー	記録映画
		1931	ウラジミール・コロレヴィッチ	記録映画
27日(金)	人生案内 以下トーキー	1931	ニコライ・エック	ニコライ・バターロフ、M・ジャゴフファーロフ、イ・クィルラ
30日(月)	脱走者	1933	フセヴォロド・ドフキン	ボリス・リワーノフ、タマーラ・マカーロフ、ワシリー・コプリギン
31日(火)	国境の町	1933	ボリス・バルネット	エレーナ・クジミナ、セルゲイ・コマロフ、A・チスチャコフ
2月1日(水)	レーニンの三つの歌	1934	ジガ・ヴェルトフ	記録映画
2日(木)	チャパーエフ	1934	セルゲイ・ワシーリエフ ゲオルギー・ワシーリエフ	B・バーボチキン、B・ブリノフ、V・ミヤスニコフ
3日(金)	陽気な連中	1934	G・V・アレクサンドロフ	レオニード・ウテソフ、L・オルロワ、M・ストレルコフ
6日(月)	マクシムの青春	1935	グリゴリー・コージンツェフ レオニード・トラウベルグ	ボリス・チルコフ、ステパン・カユーコフ、K・クラコフ
7日(火)	最後の夜	1936	ユーリー・ライズマン	イワン・ペリツェル、M・エロツカヤ、ニコライ・ドローヒン
8日(水)	マクシムの帰還	1937	グリゴリー・コージンツェフ レオニード・トラウベルグ	ボリス・チルコフ、ワレンティーナ・キバルディーナ、A・クズネツォフ
9日(木)	十月のレーニン	1937	ミハイル・ロムン	B・シチューキン、S・ゴリドシタフ、V・ポコロフスキー
10日(金)	アレクサンドル・ネフスキー	1938	S・M・エイゼンシュテイン	N・チェルカソフ、N・オクروبコフ、A・アブリコソフ
13日(月)	十月のマクシム	1939	グレゴリー・コージンツェフ レオニード・トラウベルグ	ボリス・チルコフ、ワレンティーナ・キバルディーナ、ナターリヤ・ウージビ
14日(火)	政府委員	1940	アレクサンドル・ザルヒ イオシフ・ヘイフィッツ	ベラ・マレーツカヤ、ワシリー・ワーニン、ニコライ・クリューチコフ
15日(水)	モスクワ近郊における ドイツ軍の敗北	1942	イリヤ・コバーリン レオニード・ワルラーモフ	記録映画
16日(木)	ゾーヤ	1944	レフ・アルンシュタム	ガリーナ・ウォオジャンツカヤ、クセーニヤ・タラーソフ、エヌ・ルイジョフ
17日(金)	戦火の大地	1944	マルク・ドンスコイ	ナターリヤ・ウージビ、ニーナ・アリーソフ、エレーナ・チャパーキナ
20日(月)	イワン雷帝 第1部	1944	S・M・エイゼンシュテイン	N・チェルカソフ、L・ツェリコフスカヤ、S・ビルマン
21日(火)	イワン雷帝 第2部	1946	S・M・エイゼンシュテイン	P・カドチニコフ、M・ジャーロフ、A・プウチマ、M・クズネツォフ

土曜特集：各国特選

* 毎日ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映 (毎回ヒル・ヨル全館入替制)、入場法は平日と同じ。

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
12月24日	サイレント喜劇の黄金時代(1)			
	ロイドの武勇伝 (日本語解説版)	米 1924	サム・テイラー F・ニューメイヤー	ハロルド・ロイド、ジョピナ・ラルストン、J・アーゼン
	ラーリーの突貫百万弗 (日本語解説版)	米 1925	ラーリー・シーモン	ラーリー・シーモン、ドロシー・ドワン、オリバー・ハーディ
1月7日	サイレント喜劇の黄金時代(2)			
	愛の燈台守 (日本語解説版)	米 1924	エドワード・クライン	ベビー・パッキー、ホバート・ボスワース
	珍案らば列車	米 1925	アル・セント・ジョン	アル・セント・ジョン
1月14日	ラーリーのスピーディ	米 1925	ラーリー・シーモン	ラーリー・シーモン、ドロシー・ドワン、オリバー・ハーディ
	酔いどれ紳士	米 1924	スタン・ローレル	スタン・ローレル
	モンティのハレム騒動	米 1922		モンティ・バンク
1月21日	チャップリンの番頭 (日本語解説版)	米 1916	チャールズ・チャップリン	チャールズ・チャップリン、エドナ・バーヴァイアンス
	醜女の深情 (日本語解説版)	米 1914	マック・セネット	マリー・ドレストラー、メーベル・ノーマンド、C・チャップリン
	レベッカ	米 1940	アルフレッド・ヒッチコク	ローレンス・オリヴィエ、ジョーン・フォンテーン
1月28日	ファントマ危機脱出	米 1948	ジョン・フォード	ジョン・ウエイン、ヘンリー・フォンダ、シャーリー・テンブル
	怪盗ロカンボール	仏 1964	アンドレ・ユヌベル	ジャン・マレー、ミレーヌ・ドモンジョ、ルイ・ド・フェネス
	ファントマ・ミサイル作戦	伊 1964	ベルナルド・ボルドルー	ジャン・マレー、ミレーヌ・ドモンジョ、ルイ・ド・フェネス
2月4日	鉄腕マチステ	伊 1963	ミケーレ・ルーボ	マーク・フォレスト、ホゼ・グレチ、ジュリアーノ・ジェンマ
	恋ひとすじに	仏・独 1958	ビエール・ガスパール・ユイ	アラン・ドロン、ロミー・シュナイダー、J・C・ブリアリ
	生きる歓び	仏 1960	ルネ・クレマン	アラン・ドロン、バーバラ・ラス
2月18日	フランス式十戒	仏 1962	ジュリアン・デュヴィヴィエ	ミシェル・シモン、シャルル・アズナブール、アラン・ドロン
	新・七つの大罪	伊・仏 1962	シルヴァン・ドム、エドゥアル・モリナロ、フィリップ・プロカ	ジャン・ルイ・トランティニヤン、サミー・フレ、ジャック・シャリエ
			ジャック・ドミー、Jリユック、ゴダール、ロジェ・ヴァディム、クロード・シャプロ	

日本のアニメーション映画<1924~1958>

映画の創造世界の中で、劇映画や記録映画とは違った表現方法を持つアニメーション映画の存在は重視せぬばなりません。いまやテレビ時代ともいうべきときにあって、アニメーション映画はテレビ映像を通じていよいよ寵児的存在ともなり、若い世代の人々によってアニメ・ブームが造成されております。

当フィルムセンターにおけるアニメーション映画の研究上映は、いまから7年前に「アニメーション映画の回顧」という特集のもとに世界のアニメーション映画のそれぞれの特質を探究することに視点を置いて開催いたしました。今回は日本のアニメーション映画の歴史的歩みを、それぞれの年代における代表的作家と代表作によって、その技法的発展を把握し得るよう企図いたしました。これは当センターが数年前から準備を進めてきたものであります。戦後、今回が初上映となる多くの貴重作品を含めた、アニメーション映画の大規模な回顧上映としても空前の催しでありますので、映画研究者・愛好者各位におかれては、この機会をお見逃しなく御鑑賞下さるようおすすめいたします。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館、開映は午後3時・6時15分の2回（先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。開館は12時30分）
一般200円、学生140円、小人100円

期 日	上 映 作 品
2月24日(金)	〔番組1. 1924~26年〕 蟹満寺縁起(木村白山・内田吐夢) 塩原多助、赤垣源藏徳利の別れ、ノンキなトウサン竜宮参り(木村白山) 姥捨山、つばと、病毒の伝播(山本早苗) (95分)
27日(月)	〔番組2. 1927~29年〕 蛸の骨、文福茶釜、魚の国、動物オリンピック、蛙は蛙、太郎さんの汽車、ジラフの首はなぜ長い(村田安司) 四十人の盗賊(東浦潔・上野武夫) 日本一の桃太郎(山本早苗) (100分)
28日(火)	〔番組3. 1929~30年〕 忠吉は帰った、二つの世界、おい等のスキー、おい等の野球、かふもり、猿正宗(村田安司) 黄金の花(大藤信郎) 難船ス物語・猿ヶ島(政岡憲三) (86分)
3月1日(水)	〔番組4. 1931~32〕 心の力(大藤信郎) 空の桃太郎、驢馬、タヌ吉のお話、レビュー・春、狼は狼だ、豚平と猿吉、あひるの子(村田安司) 五一ちゃん(山本早苗) (92分)
2日(木)	〔番組5. 1932~33年〕 兄弟ごっこ(山本早苗) 沼の大将、与七郎の敬礼(大藤信郎) お猿の大漁、三公と蛸、のらくろ二等兵・教練の巻(村田安司) 動絵狐狸達引(大石郁雄) (82分)
3日(金)	〔番組6. 1934~35〕 絵本一九三六年(中野孝夫他) 天狗退治(大藤信郎) お猿三吉突撃隊の巻、元禄恋模様・三吉とおさよ、のらくろ一等兵、いなばの国の兎さん(瀬尾光世) 月の宮の女王様、のらくろ伍長・軍旗祭の巻、ミー坊と狼(村田安司) (88分)
6日(月)	〔番組7. 1935~37年〕 塙固右衛門化物退治の巻(片岡芳太郎) 忍術火の玉小僧・江戸の巻(田中与志) お日様と蛙(宮下万蔵) 居酒屋の一夜(村田安司) ちんころ平平玉手箱、だんごの行方(大藤信郎) 凧さわぎ(西倉喜代治) 小鳥と兎(佐藤吟次郎・千葉洋路) 新説カチカチ山(市川崑) (86分)
7日(火)	〔番組8. 1937~40年〕 漫画のマン吉(山本早苗) マー坊の少年航空兵(佐藤吟次郎) マー坊の大陸秘境探検(佐藤吟次郎・千葉洋路) 空の荒鷲(大藤信郎) 新猿蟹合戦(宮下万三) べんけい対ウシワカ(政岡憲三) あひる陸戦隊、三太と山賊(瀬尾光世) (90分)
8日(水)	〔番組9. 1940~42年〕 マー坊の鉄血陸戦隊(千葉洋路) テク助物語・四十匹の狼、アリちゃん(瀬尾光世) お蝶夫人の幻想、ジャックと豆の木(荒井和五郎・飛石仲也) 動物防諜戦(鈴木宏昌・石沢秀雄) スパイ撃滅(山本早苗) (88分)
9日(木)	〔番組10. 1941~42年〕 お猿三吉・僕等の海兵団(片岡芳太郎) チュウ児の羽衣(山口貞三) なまけきつね(文部省) かぐや姫(荒井和五郎・飛石仲也) 協力防空陣(芦田宏昌) 敵機来らば(山本早苗) (81分)
10日(金)	〔番組11. 1942~43年〕 芋と兵隊(片岡芳太郎) お山の総動員(山本早苗) マー坊の南海奮戦記、マー坊の落下傘部隊(千葉洋路) 桃太郎の海鷲(瀬尾光世) ニッポンパンザイ(荒井和五郎・飛石仲也) (81分)
13日(月)	〔番組12. 1943~44年〕 くもとちゅうりっぷ(政岡憲三) マレー沖海戦(大藤信郎) お猿三吉闘ふ潜水艦(片岡芳太郎) お猿三吉奮戦記(木村一) フクちゃんの潜水艦(横山隆一・関屋五十二) (78分)
14日(火)	〔番組13. 1946~47年〕 蜘蛛の糸(大藤信郎) 森の鍛冶屋(土井研二) 狐とヒヨコ(森野佐登志) マッチ売りの少女(荒井和五郎) すて猫トラちゃん(政岡憲三) ムクの木の話(丸山章治) (85分)
15日(水)	〔番組14. 1948~49年〕 きつねとサーカス、きつねと子守唄、きつねのホームラン王(森野佐登志) まさかりかついで(古沢秀雄) 鶏になったボチ(木村角山) トラちゃんと花嫁(政岡憲三) ポッポやさん・のんき駅長(熊川正雄) (85分)
16日(木)	〔番組15. 1949~51年〕 蛙と狐(西尾善行・上野武夫) ポッポやさん・のんき機関士、動物大野球戦(藪下泰次) 小人と青虫(古沢秀雄) トラちゃんのカンカン虫(政岡憲三) ボン助の腕くらべ(若林敏郎) 聖書幻想譜・アダムとイブ(大藤信郎) (78分)
17日(金)	〔番組16. 1951~52年〕 魔法の靴(片岡芳太郎) 釈迦の生涯(大藤信郎) (91分)
20日(月)	〔番組17. 1952~55年〕 浦島太郎(片岡芳太郎) くじら、四十人の盗賊(大藤信郎) ありとはと、トラちゃんの冒険(湯原甫) うかれバイオリン(藪下泰司) (77分)
22日(水)	〔番組18. 1956~57年〕 五匹の子猿たち、ちびくろさんばのとらたいじ(持永只仁) 幽霊船、八岐の大蛇退治、大国主命といなばの兎(大藤信郎) (68分)
23日(木)	〔番組19. 1956~58年〕 黒いきこり、白いきこり、こねこのらくがき(藪下泰司) かっぱのばあ太郎(花野原芳明) かもとりんごんべえ(諸橋一) 夢見童子(露谷虹児) 古事記物語・天孫降臨の巻(大藤信郎) (79分)
24日(金)	〔番組20. 1958年〕 こうもり(上野武夫) 白蛇伝(藪下泰司) (88分)

土曜特集：各国特選

今回の土曜特集は、新収蔵映画中の逸品並に従来の土曜特集上映作品中、再上映の希望がきわめて高い作品を選んでみました。特にベルギーのフィルム・アーカイヴの御好意で里帰りとなった林長二郎、夏川静江主演の2作品は、これまで日本では幻の映画とされて来たものであり、ここに披露上映を図ることによって映画愛好者の方々と共にその喜びを頒ちあいたいと存ずる次第であります。

* 入場法・入場料金は平日と同じ(ヒル・ヨル全館入れ替え制)。但し、★印の3月18日の開映はヒル1時30分、ヨル5時30分です。

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演
2月25日	ヒル ヨル	東映教育・1959年 日動・1970~72年	島田太一 藪下泰次	動画の製作過程を説明した作品 日本動画の歴史をたどった2部構成の作品
3月4日				
11日	ヒル ヨル	瑞 典・1963年 日 本・1962年 日 本・1959年	I. ベルイマン S. プールギニョン F. トリュフォー	イングリッド・チューリン、グンネル・リンドブロム ハーディー・クリューゲル、パトリシア・ゴッジ ジャン＝ピエール・レオ、パトリック・オーフェイ
18日	ヒル★ ヨル★	衣笠連盟・1928年 日 活・1928年 英 国・1965年	山崎藤江 田坂具隆 S. バージ	林長二郎、千早晶子、風間草六、中川芳江 夏川静江、三樹豊、南部彰三、見明凡太郎 ローレンス・オリヴィエ、マギー・スミス

東京国立近代美術館 フィルムセンター 中央区京橋3-7-6 地下鉄・京橋、宝町下車 ☎(561) 0823

* 竹橋本館 2月11日~4月2日 ドイツ・ロマン主義絵画の巨匠「フリードリヒとその周辺」展開催